

## みどり 緑のカーテン

みなさんは「<sup>みどり</sup>緑のカーテン」  
を知っていますか。<sup>みどり</sup>緑のカー  
テンとは、<sup>しょくぶつ</sup>植物で作られたカー  
テンのことです。よく、<sup>つる</sup>蔓の  
<sup>しょくぶつ</sup>植物が使われます。<sup>だいひょうてき</sup>代表的な  
ものは、アサガオやジャスミン



<sup>まち</sup>町で見つけた<sup>みどり</sup>ゴーヤの緑のカーテン

などで、キュウリも<sup>つか</sup>使われたりします。<sup>みどり</sup>緑のカーテンは夏の強い<sup>なつ</sup>陽射しを<sup>つよ</sup>遮<sup>ひ</sup>ぎ<sup>さ</sup>えぎ  
り、室内の<sup>しつない</sup>気温を<sup>きおん</sup>低く<sup>ひく</sup>保つためのものなので、<sup>たてもの</sup>建物の<sup>みなみがわ</sup>南側や<sup>にしがわ</sup>西側に  
<sup>う</sup>植えられます。<sup>いえ</sup>家だけでなく、<sup>がっこう</sup>学校、<sup>としょかん</sup>図書館や<sup>びょういん</sup>病院などでもよく<sup>み</sup>見られます。

4～5月ごろ<sup>がっ</sup>苗や<sup>なえ</sup>種を<sup>たね</sup>植えるとそれが<sup>う</sup>育ち、<sup>そだ</sup>夏の<sup>なつ</sup>暑い<sup>あつ</sup>時期にカーテンとなっ  
て<sup>ひと</sup>人や<sup>たてもの</sup>建物を<sup>あつ</sup>暑さから<sup>まも</sup>守ってくれます。ある<sup>とうけい</sup>統計によると、<sup>みどり</sup>緑のカーテンが<sup>まど</sup>窓  
にあると室内の<sup>しつない</sup>温度は4～5度<sup>おんど</sup>低く、<sup>ど</sup>壁や<sup>ど</sup>バルコニーの<sup>かべ</sup>前<sup>まえ</sup>にあると<sup>ど</sup>10度も<sup>ど</sup>涼し  
いそうです。<sup>すず</sup>涼しいと<sup>つか</sup>クーラーを<sup>ひつよう</sup>使う必要がなくなるので<sup>さいふ</sup>財布にも<sup>かんきょう</sup>環境にも  
やさしいのです。また、<sup>みどり</sup>緑のカーテンは<sup>しょくぶつ</sup>植物ですので、<sup>たてもの</sup>建物を<sup>すず</sup>涼しくするだけ  
でなく、<sup>さくげん</sup>CO2の<sup>こうげん</sup>削減にも<sup>こうげん</sup>貢献しています。



りゅうきゅう みどり  
琉球アサガオの緑のカーテン



りゅうきゅう はな  
琉球アサガオの花

みどり  
緑のカーテンには、アサガオの花やゴー  
ヤという野菜がよく使われます。アサガオ  
のような花のカーテンはその家の人だけで  
なく、道行く人の目も楽しませてくれます。  
野菜のカーテンの実はおいしく料理さ  
れて、食卓に並びます。例えばゴーヤ（ウ  
リ）はゴーヤチャンプルーにしたり、サラ  
ダやお漬物にしたりしておいしく食べるこ  
とができます。風船のような実がなるフウ  
センカズラや、小さいスイカのような実が  
なるスズメウリは部屋のデコレーションにすることができます。



↑ゴーヤ ↓ゴーヤチャンプルー



←フウセンカズラ



→  
スズメウリの  
リース

ふつうのカーテンは古<sup>ふる</sup>くなるとゴミになってしまいますが、緑<sup>みどり</sup>のカーテンは植物<sup>しょくぶつ</sup>なので、秋<sup>あき</sup>に土<sup>つち</sup>の上に置<sup>お</sup>いておけば分解<sup>ぶんかい</sup>され、他<sup>ほか</sup>の植物<sup>しょくぶつ</sup>の肥料<sup>ひりょう</sup>となります。採<sup>と</sup>れた種<sup>たね</sup>は次<sup>つぎ</sup>の年<sup>とし</sup>の緑<sup>みどり</sup>のカーテンに使用<sup>つか</sup>できますから取<sup>と</sup>っておいってください。

このように緑<sup>みどり</sup>のカーテンは夏<sup>なつ</sup>を涼<sup>すず</sup>しく過<sup>す</sup>ごせるようにしてくれるだけでなく、私<sup>わたし</sup>たちの目<sup>め</sup>も舌<sup>した</sup>も楽<sup>たの</sup>しませてくれ、環<sup>かん</sup>境<sup>きょう</sup>にもとてもいいものなのです。

一<sup>いっ</sup>石<sup>せき</sup>二<sup>に</sup>鳥<sup>ちょう</sup>どころか、一<sup>いっ</sup>石<sup>せき</sup>三<sup>さん</sup>鳥<sup>ちょう</sup>なのです。

「緑<sup>みどり</sup>のカーテン」という言葉<sup>ことば</sup>は20<sup>ねん</sup>年<sup>まへ</sup>ぐらい前<sup>いっぽんてき</sup>から一般的<sup>し</sup>に知られるようになりましたが、実<sup>じつ</sup>は、日本<sup>にほん</sup>では江戸<sup>えど</sup>時代<sup>じだい</sup>から似たような習慣<sup>しゅうかん</sup>がありました。江戸<sup>えど</sup>時代<sup>じだい</sup>の人<sup>ひと</sup>々は家<sup>いえ</sup>の軒<sup>のき</sup>先<sup>さき</sup>に紐<sup>ひも</sup>をつるし、その紐<sup>ひも</sup>にアサガオの蔓<sup>つる</sup>をはわせ、花<sup>はな</sup>を楽<sup>たの</sup>しみながら涼<sup>すず</sup>んでいたそうです。

みなさんもぜひ、緑<sup>みどり</sup>のカーテンをやってみてください。

(922字)

(2023.6 Written by Mami TANAKA)



この作品<sup>さくひん</sup>はクリエイティブ・コモンズ<sup>ひょうじ</sup> 表示<sup>ひえいり</sup> - 非営利<sup>けいしゅう</sup> - 継承<sup>こくさい</sup> 4.0 国際<sup>もと</sup> ライセンス<sup>ていきょう</sup>の下<sup>もと</sup>に提供<sup>ていきょう</sup>されています。この作品<sup>さくひん</sup>を利用<sup>りよう</sup>する場<sup>ばい</sup>合<sup>あい</sup>は、「たどくのひろば」を出<sup>しゅつ</sup>典<sup>てん</sup>として示<sup>しめ</sup>してください。

例<sup>れい</sup>) 出<sup>しゅつ</sup>典<sup>てん</sup>: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.